

子どもと学ぶ、子どもから学ぶ

子どもと学ぶとともに、子どもから学ぶことによって、成長し続けている教師がいます。

例えば、道徳の時間。冒頭、口癖のように子どもたちに語りかけました。

「今日もみなさんといっしょに自分自身を見つめ、よりよい生き方について考えてみたいと思います。頑張りましょう。」

年間3回の管理職による授業観察の折には、事前の提出資料「授業PRカード」に「力を付けた子どもの姿」を観点別学習状況Bの評価規準として記載し、CとAの子どもへの指導の手立ても具体的に書き込んだ上で、必ず実行しました。



授業後の面接では、子どもの学習実態を基に的確な自評を述べました。CとAの子どもへの指導の手立ての有効性にも自ら言及し、助言を求める姿が印象に残っています。

全人的な教育を施す学校において、よりよい生き方を子どもと共に追い求める教師。子どもの学ぶ姿に常に着目し、子どもから学ぶことを通して自己の指導力を磨く教師。

子どもと保護者から信頼され、同僚が敬意を寄せる、まさに学校のリーダーです。

自分で考え、決断する

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ エディー・ジョーンズ

与えられたものをこなすだけでは、本当の力は生まれません。人間は極めて知能的な生き物です。自分で考えたり、決断したりすることから、大きな力が生まれるのです。

出典：「ハードワーク」（講談社）

※ 状況に応じたその人なりの思考・判断・表現を重んじることが、成長を促します。